



## 臨床医学研究のお知らせ

聖路加国際病院では、将来の医療を向上させるため、臨床医学研究を行っています。つきましてはご理解の上、ご協力をお願い申し上げます。なお、個人情報は厳重に管理させていただきます。

研究計画や研究方法に関する資料をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体の目的や進行に支障となる事項以外はお知らせすることができます。ご質問がありましたら下記連絡先にお問い合わせください。

この調査では、ご協力を拒否することも自由です。もし、研究へのデータ・試料の利用を望まない場合は、下記の連絡先までご連絡いただくか、医療スタッフへ申し出てください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

### **【照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先】**

住所：〒104-0044 東京都中央区明石町 9-1

電話：03-3541-5151

担当者の所属・氏名：整形外科 河西 俊

### **【研究責任者】**

聖路加国際病院 整形外科 河西 俊

### **【指導医】**

聖路加国際病院 整形外科 北村信人

# 高位脛骨骨切り術の人工骨挿入角度が

## 術後に及ぼす影響に関する研究

### 1. 研究の対象

2019年7月から2023年7月までに、当院整形外科にて高位脛骨骨切り術を受けられた方

### 2. 研究の目的・方法

高位脛骨骨切り術は、変形性膝関節症の患者さんで、比較的若く、活動度の高い方に対して一般的に行われる手術です。

高位脛骨骨切り術において、骨切りを行った脛骨の隙間に人工骨を挿入するか否か、またどんな人工骨を挿入するかについては、未だ議論が存在します。

当院では、2019年7月から一部の患者さんではヒドロキシアパタイト製の人工骨を挿入しておりますが、同様の人工骨の挿入が術後の脛骨の角度などの術後に与える影響については、未だ十分な知見はありません。

本研究では、当科で高位脛骨骨切り術を施行した方における、人工骨の使用が術後の画像所見などの術後に与える影響を明らかにすることを目的としております。

なお、この調査では、通常の保険診療以外の医療行為を行うことはなく、診療録（カルテ）に記載される内容についての後方視的な調査のみとなります。

調査期間は、当法人研究機関の長による実施許可後～2024年12月31日までの予定です。該当データの利用開始は、2024年2月13日を予定しております。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

主なデータ項目は以下となります。

《情報》

患者背景：ID、性別、年齢、身長、体重、原疾患、外傷歴、手術歴

画像所見：術前、術後の単純X線所見、術後のCT所見

手術所見：手術時間、出血量、人工骨使用の有無 等